

竜田駅西側まちづくりだより 第4号

平成30年10月発行

インフォメーション

1. 竜田駅西側復興まちづくり推進に係る第2回ワークショップが開催されました
2. 道路の整備イメージについて
3. 参加された町民の方々からの主な意見について

1. 竜田駅西側復興まちづくり推進に係る第2回ワークショップが開催されました

平成30年9月19日(水)、第2回竜田駅西側復興まちづくり推進に係るワークショップを開催しました。

今回は平日開催にも関わらず、上井出地区の方をはじめ、町の商業や、まちづくりに取組む方など幅広い層から多くの参加がありました。

第1回で出された意見についての町からの報告に続いて、具体的なイメージに基づいた整備のあり方について、専門家のアドバイスなどを基に、アイデアや提案がなされました。とくに、道路の整備については、「**歩行者優先**」を目指す形で意見が集約されました。

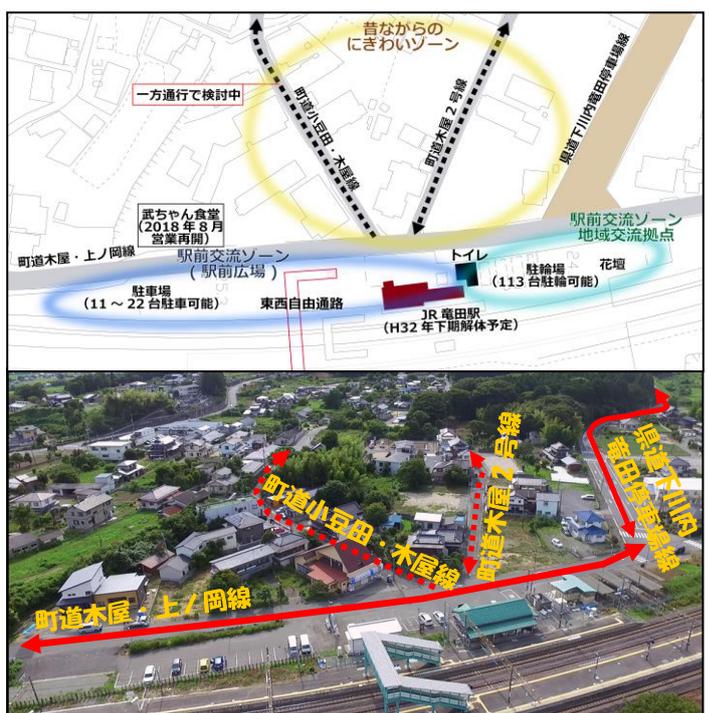


写真：町役場で開催された第2回ワークショップの様子

◆竜田駅西側の今後の整備の方向性

前回のご意見やアイデアを基に、町から「竜田駅西側のゾーニング図案」が示されました。右図は、主に町道小豆田・木屋線と町道木屋2号線に、駅前広場を加えたエリアについて、イメージ図とその概要が示されました。町からは、

- ・駅前広場は、イベント利用の自由度が高まるよう、シンプルな整備がよい
 - ・歩行者に優しい道路に向け、駅前に接続する道路2路線の一方通行化を検討
 - ・電線地中化は、引き続きの検討課題など、方向性と検討課題を説明しました。
- 町からの説明を受け、参加者で意見を出し合いました。



図：竜田駅西側のゾーニング図案と現在の駅周辺



みなさんの意見などは裏面をご覧ください

2. 道路の整備イメージについて

今回の議題のひとつが、道路の整備についてでした。石畳、カラー舗装（アスファルト）、アスファルトの舗装素材を、歩行性、デザイン性、経済性、施工性、維持管理などの観点で比較しました。さらに、全体コンセプトの「和風なイメージ」、「ほっこりした」をふまえると、カラー舗装（アスファルト）での整備がふさわしいのではという意見が大半を占めました。

幅員に応じた歩行者専用道路の整備の検討を引き続き進め、設計に反映させていきます。



図：和風なカラー舗装の整備イメージ

3. 参加された町民の方々からの主な意見について

ワークショップにて寄せられたご意見について、その一部をご紹介します。

◇広場空間の活用	駅前広場の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> ●歩車の境界を無くし、気軽にイベントが開けるよう、フラットなデザインとする。また、車のスピードを抑制し、色で歩行者優先であることを明示する工夫をする ●防災倉庫などの防災施設を設置する ●駐輪場は利用実態に応じて駐輪台数を検討する ●町全体を巡れるよう、サイクルステーションを検討する
	町道の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> ●道が狭く、歩行者専用のスペースの両側確保は難しい ●木屋2号線から駅へ、駅から小豆田・木屋線へと、緩やかなカーブの一方通行にし、自動車の流れを制限・抑制する ●排水性舗装にして水はけを良くする
◇賑わい空間の創出	創出の方針や担い手の方針	<ul style="list-style-type: none"> ●賑わいは自然に発生するもので、徐々に生まれるもの ●駅舎を一部移動し、待合スペースなどに保存活用する ●歩いてお店を行き来することで賑わいに結びつける ●土地や建物の情報を整理し、借りたい人が借りられるようにする ●駅舎を郷土資料館として一部活用するのはどうか ●自分達でできることや、お店等何か自らチャレンジする人をみんなで応援する

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました！

「自分たちの町は自分たちで発展させていこう！」そんな想いを参加者のみなさまから感じました。今後も楡葉町では、竜田駅周辺のまちづくりを住民のみなさまと力を合わせながら、みんなで推進していきたいと考えています。

次回は11月21日(水)開催予定です。多くの方のご参加お待ちしております。

【問い合わせ先】

楡葉町 建設課 都市計画係 担当：渡邊・松本

〒979-0696 福島県双葉郡楡葉町大字北田字鐘突堂5番地の6

TEL:0240-23-6106 FAX:0240-25-1234 HP:http://www.town.naraha.lg.jp/

誰でも参加可能だよ。
みんな誘って参加してね～

